

これまでの「カードによる医療材料管理」で発生していた
“管理漏れのリスク”や“人的管理労力Hの増加”を飛躍的に効率化
する医療材料記録システムです

YuCASで医療材料記録が効率化できる4つのポイント

◆提出書類も自動的に印刷

※本システム印刷リストを提出書類に代用することを前提とした場合

- ・用度課などへの提出書類を症例ごとに自動的に印刷します。同一レイアウトで3か所分まで可能。
- ・院内独自コードは文字だけでなく、バーコードシンボルでも印刷可能。(CODE39、NW-7、GS1-128確認済み)
- ・納入業者向けリストには、GS1-128による業界標準のバーコードを印刷します。
- ・各々の医療材料のロット番号、シリアル番号も印刷します。

◆物品マスタはExcelでの登録が可能

- ・使い慣れたExcelで登録できます。
- ・物品マスタには、院内で使用している独自コードの登録が可能です。
- ・マスタに未登録の際にはカタログコードの登録を促し、事後に係る確認作業を軽減します。

◆大きめの画面文字など、操作性を重視の設計

- ・立ちながらの作業を考慮し、操作画面の文字を大きくし視認性を向上させました。
- ・使用物品の包装物の形体を考慮せずに取り扱えるようにコードレスのバーコードスキャナを採用しました。
- ・症例や薬剤についても記録可能としました。(共に事前登録による選択式)
- ・一部メーカーの2段バーコードにも入カチェックを設けることで、情報の取りこぼしを極力減少させます。

◆機器の占有面積はA4ノートサイズ

- ・架台などの利用で、占有面積はほぼA4ノートサイズの省スペース。
- ・伝達媒体を紙に特定(記録情報のExcelデータ化も可能)したことにより既存の院内基幹システムへの影響をなくした完全スタンドアロン型のシステムです。

導入効果

導入前 カードによる運用

カードの作成

カードの貼付

物品の使用

カードの回収

報告書の記入

- ・在庫分全部を作成
- ・物品コードのみ
(ロットNoやシリアルNoはなし)

- ・1物品毎に全て貼付
視認による貼付のため取違ひなどの
ミスが発生する可能性が高い

- ・カードが小さいため、紛失の可能性
- ・カードの再貼付
- ・ロットNoやシリアルNoが分からない...

- ・用度課、医事課などへの
提出書類を手書きで別々に記入
- ・ロットNo/シリアルNoはない

新規の際にはカードの作成作業、納入の度に貼付作業が発生
看護師本来の業務とは別の事務作業が発生し、仕事の負荷が増大

導入後

YuCAS
Yufu Cathlab System

物品マスタの登録

物品の使用

空箱、空袋のバーコードスキャン

報告書の印刷



- ・1カタログコードにつき1データ
院内独自コードも登録可能

- ・バーコードはメーカーが貼付済
GS1-128(業界標準)



- ・ロットNo/シリアルNoあり!
カタログコードによる手入力も可能

- ・オペ毎に自動印刷。
ロットNo/シリアルNoも印刷済み

動作環境／参考価格

■ハードウェア

CPU: Intel Pentium4以上
メモリ: 512MB以上
HDD: 1GB以上のハードディスク空き領域
ディスプレイ: 1024×768 以上
外付け: CD-ROMドライブ・バーコードスキャナ・プリンタ

■ソフトウェア

Microsoft Windows XP・7
(Vista未対応)
Microsoft Excel/Access 2003以降

■参考価格

必要ハードウェア
(パソコン+スキャナ+プリンタ)
必要ソフトウェア
(Yucasライセンス+MSソフト一式)
一式 ¥1,600,000.- ~